

2023年11月吉日

プレスリリース

笠間市笠間 978-4  
公益財団法人日動美術財団  
笠間日動美術館

絵筆がとらえる真実 レンズでさぐる世界  
—絵画と写真 表現の探求—

同時開催 笠間高等学校メディア芸術科 写真作品展

2024年1月2日（火）～3月10日（日）



ヴィック・ムニース

FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO), 2017、Digital C-print

© Vik Muniz

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて当館では標記展覧会を開催いたします。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

## 記

高橋由一は、西洋画の迫真性を多くの日本人に伝えるために身近な「鮭」というモチーフを選び、鱗の一枚一枚まで写し取るかのように描写しました。現代においても、森本草介や小木曾誠、陶山充らは写実を追求して精密な絵画を生み出しています。由一の没後 130 年にあたり、本展では彼ら写実の画家たちはじめ、アーティストによるオリジナルな表現の探求に着目します。サルバドール・ダリは対象をリアルに捉えながら超現実世界を表し、ポップアートを代表する画家、ロイ・リキテンスタインは漫画の一コマを拡大して印刷インクのドットまで描出しました。また、写真を利用して新たな可能性を模索するアーティスト、ヴィック・ムニーズらの作品とともに、広告写真を中心に活躍している海老原豊、テレビ番組に携わりドローン映像でも注目される小曾納久男らの写真を紹介します。

### ■ 出品作家(予定)

サルバドール・ダリ、キム・チャンヨル(金昌烈)、アントワーヌ・プーペル、ヴィック・ムニーズ、ロイ・リキテンスタイン、稲垣考二、小木曾誠、城戸義郎、陶山充、高橋由一、藤井勉、森本草介 (2月1日(木)から3月10日(日)まで展示)、山本大貴 ほか

### ■ 出品作品(予定)

#### 絵画作品



高橋由一「鮭図」1879-80年  
笠間日動美術館蔵(山岡コレクション)



森本 草介「微睡の時」1984年 笠間日動美術館蔵  
(2月1日(木)から3月10日(日)まで展示)



陶山 充「ノートルダム大聖堂」2023年 作家蔵

## 写真作品



海老原 豊



小曾納 久男

### 海老原 豊

1952年茨城県笠間市福原生まれ。東京総合写真専門学校卒業。1980年小学館写真雑誌「写楽」創刊記念フォトコンテストでグランプリ受賞。賞金でアメリカ一周の撮影旅行に出る。その後ヨーロッパ、アフリカ、アメリカなど世界各地を撮影。現在広告写真、人物写真、都市風景などで活躍中。茨城県立笠間高校メディア芸術科写真専攻非常勤講師。IPA 茨城写真家協会副会長。

### 小曾納 久男

1989年水戸市にて写真展（光と風と白鳥たち）。1990年ストックフォトを中心に活動。1993～1994年パリ撮影（渡航3回）。2008年東京空撮。動画撮影始める。2009年笠間市にスタジオ設立、2016年水戸に新設。2018年映画（ある町の高い煙突）でドローン空撮とオープニング動画。2019年8月29日銀座キヤノンギャラリー写真展『青い狩人 翡翠』。2021年6月から2022年3月まで所さんの目がテンで野鳥撮影6回ほどTV出演。2022年3月学研里山の生き物図鑑写真と動画を100点ほど掲載、2ヶ月で6万部売り上げ。2022年12月7日モンテリオール国連生物多様性条約第15回締約国会議にて動画の放映。

■ 会期中のイベント ※各イベントの日時などは都合により変更となる場合がございます。何卒ご了承くださいませ。

・ギャラリートーク 参加費：無料（要入館料） / 会場：企画展示館  
1月6日（土）、2月10日（土） 各回 14時～（30分程度）

・同時開催 笠間高等学校メディア芸術科 写真作品展  
会場：企画展示館2階中央展示室

#### 【笠間高校メディア芸術科】

笠間高校メディア芸術科写真専攻の写真作品群を展示いたします。

本学科では人物、日常のスナップやロケーション撮影、植物やマクロ撮影など、さまざまなジャンルの写真表現に日々挑戦しています。写真を通じて、自分が感じていること、関わる地域の情報や世界のこと、人々の思いなどを表現することで、人と人を繋ぐこと、そしてその「場」を活性化することを目指しています。

現代を生きる高校生がカメラのレンズ越しに捕らえた「今、この瞬間」をご覧ください。

・フランス館長谷川仁・林子記念室の展示  
「日本近代洋画家たちの挑戦」12月15日（金）～2月7日（水）  
山下りんのアイコン画などを展示します。

## ■ 展覧会概要

- ・ 展覧会名 絵筆がとらえる真実 レンズでさぐる世界 —絵画と写真 表現の探求—  
同時開催 笠間高等学校メディア芸術科 写真作品展
- ・ 会 期 2024年1月2日(火)～3月10日(日)
- ・ 会 場 笠間日動美術館 企画展示館(茨城県笠間市笠間 978-4)
- ・ 開館時間 午前9時30分より午後5時(入館受付は午後4時30分まで)
- ・ 休 館 日 毎週月曜日(但し1月8日、2月12日は開館。翌日休館)
- ・ 入 館 料 大人1300円/65歳以上1000円/大学・高校生900円/中学300円/小学生無料  
20名以上の団体は各200円割引/障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は各半額割引
- ・ 主 催 公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館
- ・ 後援予定 茨城県/茨城県教育委員会/笠間市/笠間市教育委員会/茨城放送/  
朝日新聞水戸総局/茨城新聞社/共同通信社水戸支局/産経新聞社水戸支局/  
東京新聞水戸支局/毎日新聞社水戸支局/読売新聞水戸支局/  
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

## ■ 交通案内

### [JR利用]

- ・ 常磐線友部駅北口(9:50/10:50/11:50 発)より『かさま観光周遊バス』(100円)または市内循環バスで約15分。「日動美術館入口」下車徒歩1分・水戸線笠間駅より徒歩約25分(日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆)『かさま観光周遊バス』または『レンタサイクル』の利用が便利です。

### [自動車利用]

- ・ 常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道355号線経由約6km
- ・ 東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道50号線経由約8km

## ■ 問い合わせ先

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館

TEL: 0296-72-2160/Fax: 0296-72-5655/Website: <http://www.nichido-museum.or.jp/>

担当: 長谷川・塚野 Email: [hasegawa@nichido-museum.or.jp](mailto:hasegawa@nichido-museum.or.jp)

以上